

## 知事と区市町村長との意見交換（狛江市）

令和1年10月21日（月）

17時00分～17時20分

○**行政部長** それでは早速でございますが、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○**知事** 本日は松原市長をはじめとして、狛江市の皆様方お越しくださいます。誠にありがとうございます。

ちょうど昨日は調布にまいりました際に、今回災害に遭われた団地の方も見てまいりました。明日、また雨でまた台風20、21号と相次ぐようでございます。今回も防災については市と連携もさせていただいたわけですが、まずは床下浸水ということでございます。お見舞いを申し上げたいと思います。

それから長期戦略を描くということでお越しいただいているわけでございますが、時間が短いところではございますが、今後の市のビジョンの考え方等をお聞かせいただければと存じます。どうぞよろしくをお願いいたします。

○**行政部長** 松原市長、よろしくをお願いいたします。

○**狛江市長** 先日の19号にあっては関東をはじめ、多くの地域で大きな被害が出てございます。狛江市でも昭和49年の多摩川決壊以来の大きな災害となっているところでございます。災害対策本部会議及び災害復旧におきましては、東京都の協力に大変感謝を申し上げます。

現在、原因等も調査を行いまして、しっかりと説明できるようにしておきたいと思っております。それから今後もこのような災害が起こらないように対策を考えて、それに対応していきたいというふうに考えているところでございますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

本日は、大きく2点ほど御要望させていただきます。少し台風の被害状況等を見ていただきながらと思います。

こちらが多摩川の状況でございます。これはNHKで放送された部分です。時間的に追われてずっとこの多摩川のところを放送されて、世田谷が決壊した時に狛江が決壊したんだろうということで皆さんは勘違いをされて、急に避難された方も。

○**知事** テレビの、昔のドラマの影響があって。

○**狛江市長** そうですね。それがあまして、本当に避難された方が多いです。これが知事が昨日行かれた場所です。実はここは都道なんです。今、車の頭が見えてますけども、こういう状況で最終的には1メートル半上がった所なんです。だから車が完全に頭まで見えなくなってきて、団地へ行っていただいた時に、駐車場があったと思いますけども、ここも大体1メートルとか1メートル20センチぐらい上がってしまっていて、停めてある車が水没してしまったということです。

歩道上を見ますと、1.2メートルまで高さが上がってしまって、今ここに泥が、やはり根

川から泥が大分上がりまして、その泥が上がって団地の方に入ったと。

もう1か所ですけども、多摩川に排水樋管がありまして、その浸水した所に実はもう1個雨水幹線が入ってまして、雨水を外に、多摩川に出す排水樋管があるんです。それが、多摩川の方が上に水位が上がりましたので、どうしても排水できなくなって、内水氾濫がされた所。根川と一緒になんですけど、ここが被害が大きくて、こちらの方は大体1メートルぐらいは上がった所だったんです。床上下浸水は今の地域の方が多かった所でございます。

今年の2月に知事とお話をさせていただきまして、都立公園化のお話をさせていただきました。先ほどの根川の近くに都立公園化をお願いしたいという東京都の水道局の資材置き場がございます。

ここを都立公園にさせていただいて、知事は18日にプレス発表されたと思いますけれども、その時にプレスの中では1回貯めるような貯留施設が必要だということで、これは進めてということでありましたので、ここのその公園にする下の所に貯留槽を設けていただくと、根川の所が一定の水量が確保できるということで、多分あそこまでは被害が起きないのではないかというふうに思います。

もう1つは今回、その団地が実は高齢化率が高いんです。47%ぐらい高齢化率が高くて、どうしてもすぐに対応しないといけないということで、自衛隊に来ていただきたいと、知事の方にも連絡させていただいて自衛隊に来ていただきました。ありがとうございました。やはり足下しっかり外出とか、あるいは避難所から戻る時にそこで事故等起きないようにということで整備をしていただいて、本当にありがたく思っております。

そういう中で自衛隊の災害時の拠点というのは大きい所がないといけませんので、そういった拠点の場所としても使えるのではないかなということが1つと、もう1つは今後の人生100年時代に、やはり健康であるということで、そこでスポーツができるとか、レクリエーションができるとか、そういったものをスポーツ公園的な整備をいただければなというふうに考えているところでございます。

これからもこの辺は東京都さんと連携を取りながら、都立公園化に向けていろいろ御要望をさせていただいて、今回のような災害が起きるとやはりそういう場所がないといけないというふうに、本当に強く感じたところでございますので、よろしく願いいたします。

2点目につきましては、実はオリンピック・パラリンピックの関係です。狛江市は、絵手紙発祥の地狛江ということで、小池邦夫さんが絵手紙を狛江郵便局で始めたのがきっかけです。それで小池先生がいらっしゃることで絵手紙発祥の地ということで、今、全国でも、狛江市と言えば絵手紙だねというふうに言われてございまして、この絵手紙を使って子供達とか、あるいは全国からオリンピック、パラリンピックを応援しようということでやっていきたいと思っております。

今、各国の選手村の所に、国ごとにお渡ししようかなと思うのですが、なかなかそれが手続きが大変で、受けていただけないようなこともありますので、うまく受けていただきたいなと思います。こういう絵手紙ですので、これを子供達が皆描いて、その国ごとに応援をしようということで、できれば全部の参加国にこういうお手紙を出したいというふう

に思っています。

そうすると、やはり外国の方は日本の漢字とか、絵ってすごい好きな方もいらっしゃるんで、そこで少し日本のおもてなしが狛江市でもできればなということで、御協力いただければと思います。

もう1つ、狛江市ではどうしてもオリンピック・パラリンピックの会場がありませんし、他の競技も狛江市を通過するものがなくて、聖火リレーだけはあるということですけども、狛江でオリンピックがあったんだ、東京であったオリンピックは狛江でもレガシーとして残っているんだという、そういうレガシーのモニュメントをつくりたいなというふうに思っています。

なかなかオリンピックのそういったものを使うとなると難しいので、その辺は他のことも考えなければいけないなと思いますけれども、それを狛江市の中に、そういったモニュメントを置きたいなというふうに考えております。

そういったところに何か協力いただければということと、東京オリンピックの五輪音頭がありますよね。今度の五輪音頭すごい難しいんですけども、この五輪音頭は。

○知事 優しくしている、今のもので。

○狛江市長 あ、優しく。五輪音頭は市内の盆踊りの中でも五輪音頭ができる方はいるんですけども、もう少し五輪音頭を広めたいと。それでそれからもう毎年五輪音頭ができるようにということで、これもレガシーの一つとして残りますので、来年は狛江市民の大盆踊り大会を企画をしていきたいというふうに思います。

五輪を盛り上げるということで、そのために南口に狛江駅のロータリーがあるのですが、そのロータリーを全部交通規制を掛けまして、そこで市民全体で踊ろうじゃないかと。そしてレガシーとして毎年できれば一番いいわけですので、そんなことも企画をしていますので、やる時には知事も来ていただいて、御一緒に。

○知事 難しい。

○狛江市長 難しいですか。踊っていただければというふうに思います。どうしても狛江市っていうとオリンピック、パラリンピックで、何があるの。何ができるのという中で、やはりそういう資源とか、あるいはこれから行うようなそういうイベントをつくり上げれば、東京オリンピック、ああ、狛江でもあったんだっていうところも、ぜひとも子供達に残していきたいというふうに思いますので、よろしくお願いを申し上げます。

東京都の中でもうお示しいただいた未来の東京への論点整理と、それからこちらが重点施策ということでいただいております。この中でも防災面の強化とか、もう一つは、見させていただきますと、結婚、出産、子育てまで切れ目ない支援という中で、私も微力ながら結婚相談所の経営をしていましたから、応援ができることは多々あると思うんです。

知事の目標として、結構数値的には高い目標をされています。この数値は、本当にやる気がないとなかなかここまできかないですし、どうしても婚活とか結婚支援というと、行政がどうなのということもあって、行政部長は、前にそこの担当されていて苦労されたと思うんです。私も昨年、総合相談窓口で、結婚支援ということで結婚相談をやったんで

す。やはり来られる方は親の方々が来られるので、やはり親も心配している。本人も心配しているだろうと思いますので、協力できることも多々あると思いますので、その時はどうぞよろしくお願いを申し上げます。以上でございます。

**○知事** まず改めまして、今回床上が 100 近く、床下で 152 ということで伺っております。被害を受けられた方々に御見舞いを申し上げると同時に、できる限り支援を都としてもしていきたいと思っております。今回の内水氾濫についても、またいつこのようなことが起こるかわかりませんので、原因の究明と対策等々を進めていく必要があるかと思っております。

それから公園について、最初にお話ございました。和泉多摩川緑地を活用してということでお話を伺いました。

奥多摩の源流から狛江市を通過して大田区まで連なっているという、この多摩川の河川敷でございますけれども、やはり東京にとりましても貴重な緑の空間でございます。先ほど御覧いただいたような未来の東京への論点の中でも、ゆとりと潤いのあるまちをつくるということも掲げておりまして、こういったことから、賑わいのある水と緑の空間を創出する、それから水辺を活かすということ等を課題として挙げさせていただきました。

一方で、今回の台風の影響を踏まえまると、治水という観点から水害への備えも固める必要があるかと思っております。事業化に向けた課題の整理に協力をしてまいりたいと考えております。

それから親戚ではありませんが、小池さんがはじめられました絵手紙発祥の地の狛江でございますが、オリパラ教育の中で地元の文化の理解を含めて発信する、大変いい機会だと思っておりますので応援したいと思っております。教育庁が担当になりますので、そちらと調整していただきたいと思っております。このことがまた大会後のレガシーとして、国際交流の継続に繋がればということを期待いたします。

それから聖火ランナーが 7 月 10 日ですかね、狛江を通るということになります。モニタメント等についてはルールがやたらと厳しい。それから事前の調整があるかと思っておりますので、担当と調整していただきたいと存じます。

それから盆踊りでございますけれども、これは都としてもどのような支援ができるのか、考えてまいりたいと思っておりますが、総務局の方に御相談いただければ、局長が盆踊りが大好きではないかと思っておりますので、対応させていただきたいと存じます。

いずれにしても、昨日ちょうど多摩川団地の方で実際に見てまいりました。多摩川のすぐそばということ、大変自然に恵まれていると同時に、危険性とも隣り合わせということかと思っておりますが、セーフシティ東京を目指しておりますので、ぜひこれからもまた雨が降りますけれども、皆さんに安全、安心を感じていただけるようにしていきたい。

最後に婚活、結婚支援ですね。これはずっと言われてるんです。行政がそこまでやるのは何事だということでございますが、ずっと何もしなければどんどん減る一方でございます。よって、昔は本当に御近所の家族構成から、それぞれのどういう坊ちゃん、嬢ちゃんなのかというのをよく御存じな方が地域には必ず一人、二人おられて、会社でもそうですよね。奥さんでね、とてもそういうお世話をされるのがお上手な方もいらして、それから

もっと申し上げると、例えば会社等でもヤクルトとか、保険の生保のおばちゃんとか、皆詳しいんですよね。そういう方々が取り持つ縁というのがあったんですけども、最近はマンションに入るのもいろいろ難しいし、会社の中に入るのもセキュリティバッジがないとだめとかって言って、なかなかそういう取り持つ方々との縁も切れて、個人情報とかなかなか難しい。

とは言っても、難しいからと、そのままにしておくと、増々縁がなくなってしまう。皆御縁を求めているんですよ。そのあたりは国の方でも、もう既にその婚活うんぬんということで、既に毎年20億円ぐらい予算積んでいますし、そこはうまく自治体、一番お近い、住民に近いところで、またノウハウを市長御自身がお持ちということですから、ぜひ狛江から2.07等を達成できるようにしていきたいと思えます。よろしく願いいたします。

○行政部長 そろそろお時間に。最後にもし一言あれば。

○狛江市長 狛江市は、本当に災害に敏感な市民なんです。それは49年の多摩川決壊があったということで、今回も避難所を開設いたしましたら本当に集中してしまいまして、またそれも課題が出てきたところです。

本来的に多摩川水害だと、実は今回挙げた避難所はそこは避難所に適してないんです。要するにそこは何メートルも上がってくると。私はもう今回は防災計画ではだめなんですけども、その計画を無視したというか、垂直避難をかけるということで、そこを避難所としてあげたんですね。

狛江ならではの防災計画、今回の災害に対する計画を立てられると思うんです。しっかりこれは対応していきたいと思えます。

本当に内水氾濫が一番狛江市の中でも問題になっていますので、その辺の御協力をいただければと思えますので、よろしく願い申し上げます。

○行政部長 これで意見交換を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。